

関西言語学会 第46回大会プログラム

2021年6月12日(土)・13日(日)
Zoomによるオンライン開催

関西言語学会事務局

<https://kls-linguist.com/>

582-8582 柏原市旭ヶ丘 4-698-1

大阪教育大学 英語教育部門

スケジュール

6月12日 (土)	10:00-12:00	ワークショップ	A会場
	13:00	開会の辞	A会場
	13:10-15:20	研究発表 I	A会場・B会場
	15:25-15:40	総会	A会場
	15:45-17:15	招待講演	A会場

6月13日 (日)	10:30-12:40	研究発表 II	A会場・B会場
	13:30-16:30	シンポジウム	A会場
	16:30	閉会の辞	A会場

□ 会場について

A 会場 URL : TBA

B 会場 URL : TBA

□ 大会参加について

- ・ Zoom情報は学会ウェブサイトに別途掲載の方法で会費ないし大会参加費を支払われた方に、大会1週間前までにお送りします。

□ 書籍展示・販売

- ・ 大会開催にともない、オンラインで書籍の展示・販売を行っています。詳しくは学会ウェブサイトをご覧ください。

第46回大会プログラム

第1日：6月12日(土)

ワークショップ 10:00-12:00

【A会場】

コーパスを使用した多様な対照研究

代表者：古賀悠太郎（台湾・静宜大学）

陳冬姝（中国・北京外国語大学）

程莉（中国・武漢大学）

太田匡亮（大阪大学大学院生）

指定討論者：建石始（神戸女学院大学）

開会の辞 13:00

【A会場】

関西言語学会大会委員長 上田 功（名古屋外国語大学）

研究発表 I 13:10-15:20

【A会場】

司会：定延 利之（京都大学）

1 (13:15-13:50) Constructionalization of *take it (that)*-construction

河野 亘（兵庫県立大学）

2 (14:00-14:35) 知覚表現としてのガスル構文とヲシテイル構文

—主に知覚主体の存在をめぐって—

板垣 浩正（常磐大学）

3 (14:45-15:20) 「維持」を表すアスペクト形式の日中対照

アスペクト形式が担う機能領域の広狭の観点から

山田 祐也（名古屋大学大学院生）・堀江 薫（名古屋大学）

【B会場】

司会：上田 功（名古屋外国語大学）

1 (13:15-13:50) チャハルモンゴル語における複合語アクセントの規則化

金正琳（神戸大学大学院生）

2 (14:00-14:35) 中国語の否定疑問文の音声的特徴

孫 爽（岡山大学大学院生）

3 (14:45-15:20) Rendaku and /p/ 【招聘発表】

Timothy Vance（国立国語研究所名誉教授）

総会 15:25-15:40

【A 会場】

招待講演 15:45-17:15

【A 会場】

司会：由本 陽子（大阪大学）

日本語「ノダ文」の情報構造

金水 敏（大阪大学）

第 2 日：6 月 13 日（日）

研究発表Ⅱ 10:30-12:40

【A 会場】

司会：佐野まさき（立命館大学）

4 (10:35-11:10) 日本語の分裂文の統語特性

森山 倭成（神戸大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

5 (11:20-11:55) 「-すぎだ」における対格と属格の交替について

新山 聖也（筑波大学大学院生）

6 (12:05-12:40) Short- and Long-Distance Movement in Relative Clauses in English and Japanese

池田 誉志（愛知県立大学大学院生）

【B 会場】

司会：有田 節子（立命館大学）

4 (10:35-11:10) BCCWJ における対応する自動詞と他動詞の使用頻度に基づく分析

—動詞対に着目して—

新谷 知佳（大阪大学大学院生）

5 (11:20-11:55) 近代から現代に至る逆接を表す接続詞の使用変化

—「けど類」と「コンピュータ+けど類」の比較を中心に—

胡 蘇紅（名古屋大学大学院生）

6 (12:05-12:40) 日英語の節連言文の語用論的分類 【招聘発表】

長辻 幸（公立小松大学）

シンポジウム 13:30-16:30

【A会場】

言語学におけるコミュニケーション学をめぐる

趣旨説明

オーガナイザー：龍城 正明（同志社大学）

コミュニケーション学から見た言語分析再考

—統語論とモダリティーを越えた分析—

龍城 正明（同志社大学）

コミュニケーション学から見た意味研究の課題と展望

—オケーションの意味論分析のアプローチ—

林 礼子（甲南女子大学）

コミュニケーション学から見た音声研究

—日本語プロソディーの分析—

窪菌 晴夫（国立国語研究所）

コミュニケーション学から見た構文の統語・意味・文脈情報の相互作用

—日本語「見つかる」の分析—

岸本 秀樹（神戸大学）

閉会の辞 16:30

【A会場】

関西言語学会会長 藤田 耕司（京都大学）

大会委員

上田 功(委員長)	秋田 喜美	有田 節子	菊田 千春	金水 敏
定延 利之	佐野 まさき	田中 真一	田中 裕幸	田村 幸誠
鄭 聖汝	中野 陽子	中谷 健太郎	那須 紀夫	長谷部 陽一郎
藤田 耕司	水口 志乃扶	三宅 知宏	由本 陽子	吉村 公宏

オンライン開催実行委員

有田 節子	田中 真一	中谷 健太郎	長谷部 陽一郎	寺田 寛
-------	-------	--------	---------	------

事務局長

寺田 寛